



2021年11月4日

各位

会社名 株式会社フュートレック
代表者名 代表取締役社長 西田 明弘
(コード 2468 東証第二部)
問合せ先 管理部長 秦 真一郎
(TEL 06-4806-3112)

2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績において下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月11日)	百万円 820	百万円 100	百万円 90	百万円 83	円 銭 8.87
実績値(B)	743	71	75	57	6.19
増減額(B-A)	△76	△28	△14	△25	
増減率(%)	△9.3	△28.2	△16.1	△30.2	
(ご参考)前第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	793	△185	△173	△324	△34.63

2. 差異の理由

2021年3月期より延伸しておりました、「新Visionary」大型案件の納品は、当第2四半期会計期間に完了いたしました。同大型案件の納品にリソースを集中したため、第2四半期累計期間の業績予想に当初含めていた受注済みの他の案件について、顧客合意のうえ納品時期を第3四半期以降に変更したことにより、売上高、営業利益、経常利益が前回発表予想を下回りました。なお、本受注済み案件は、2022年3月までに納品見込みであり、通期の業績予想には影響ありません。

また、当社を含む、当社グループ会社各社における、第2四半期累計期間末時点の課税所得の発生額が想定を上回ったため、税金費用が前回発表予想時の見通しを上回りました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を下回りました。

課税所得の発生額について通期では、前回発表予想と大きく乖離しない見込みです。そのため、通期業績予想につきましては、前回発表予想から変更はございません。

今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

注) 上記の業績予想値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上